

# 業績予想の修正および構造改革の強化に関する テレフォン・カンファレンス

2011年9月16日

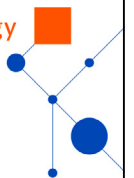
日本写真印刷株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木順也

NISSHA

Nissha Confidential Proprietary

1



## 本日のポイント

### ●2012年3月期通期業績予想を下方修正

- 下期に予想される市場環境の悪化により、期初計画を売上高・利益とも大幅修正
- 産業資材： ノートPC・携帯電話需要の低迷による売上高の激減、稼働率の低下、赤字幅の拡大
- デバイス： スマートフォン・ゲーム機向け売上高の激減、稼働率の低下、赤字幅の拡大
- 円高影響

### ●構造改革を強化

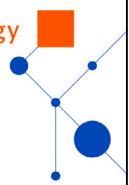
- 2013年3月期での黒字化を目指して、不退転の決意で構造改革を断行
- 固定費削減(減価償却費、人件費、その他経費)、変動費削減により、約90億円の改善効果
- 構造改革費用として特別損失約112億円 (固定資産の減損損失約78億円、希望退職者の募集にともなう特別加算金・再就職支援プログラム費用約34億円)

### ●2012年3月期配当を無配に修正

NISSHA

Nissha Confidential Proprietary

2



## 2012/3期 通期予想を修正

2012年3月期通期業績計画

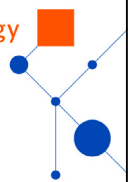
(百万円)

	2011/3期 実績	2012/3期 期初計画 (2011/5/12公表)	2012/3期 修正計画 (2011/9/16公表)	前期比	前回計画比
売上高	114,054	118,000	80,000	▲29.9%	▲32.2%
営業利益	▲4,946	300	▲11,000	-	-
営業利益率	▲4.3%	0.3%	▲13.8%	▲9.5pt	▲14.1pt
経常利益	▲5,396	500	▲11,300	-	-
当期純利益	▲2,464	250	▲27,000	-	-
事業別 売上高	産業資材	44,037	45,000	▲21.2%	▲22.9%
	デバイス	50,438	53,000	▲47.5%	▲50.0%
	情報コミュニケーション その他	19,577	20,000	▲4.0%	▲6.0%

3

Nissha Confidential Proprietary

NISSHA



## 2012/3期 上期予想を公表

2012年3月期第2四半期(累計)業績計画

(百万円)

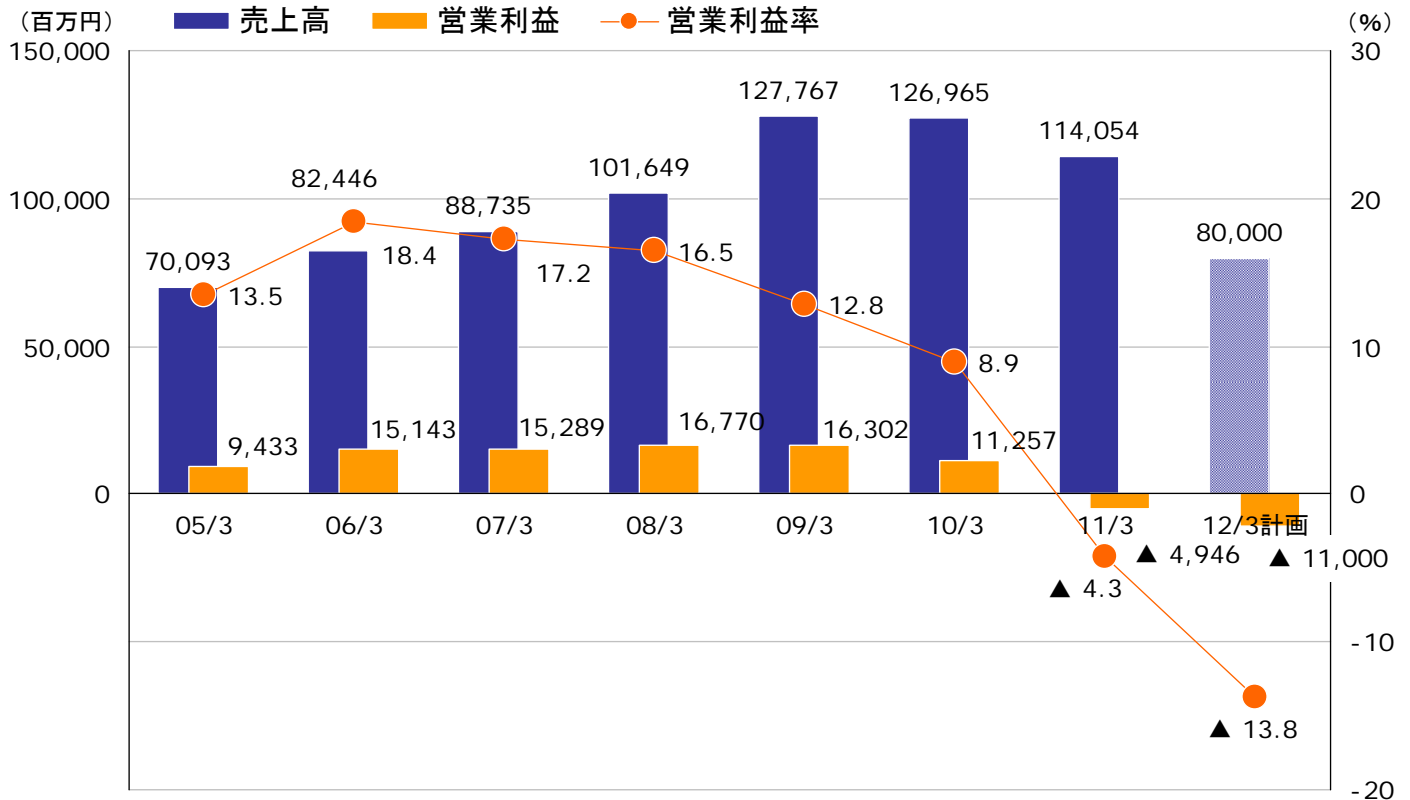
	2011/3期 H1実績	2012/3期 H1計画 (2011/9/16公表)	前年同期比	
売上高	54,553	42,500	▲22.1%	
営業利益	▲1,020	▲4,800	-	
営業利益率	▲1.9%	▲11.3%	▲9.4pt	
経常利益	▲1,441	▲5,400	-	
四半期純利益	▲1,103	▲21,000	-	
事業別 売上高	産業資材	23,478	19,500	▲16.9%
	デバイス	21,715	14,500	▲33.2%
	情報コミュニケーション その他	9,359	8,500	▲9.2%

4

Nissha Confidential Proprietary

NISSHA

## 業績推移

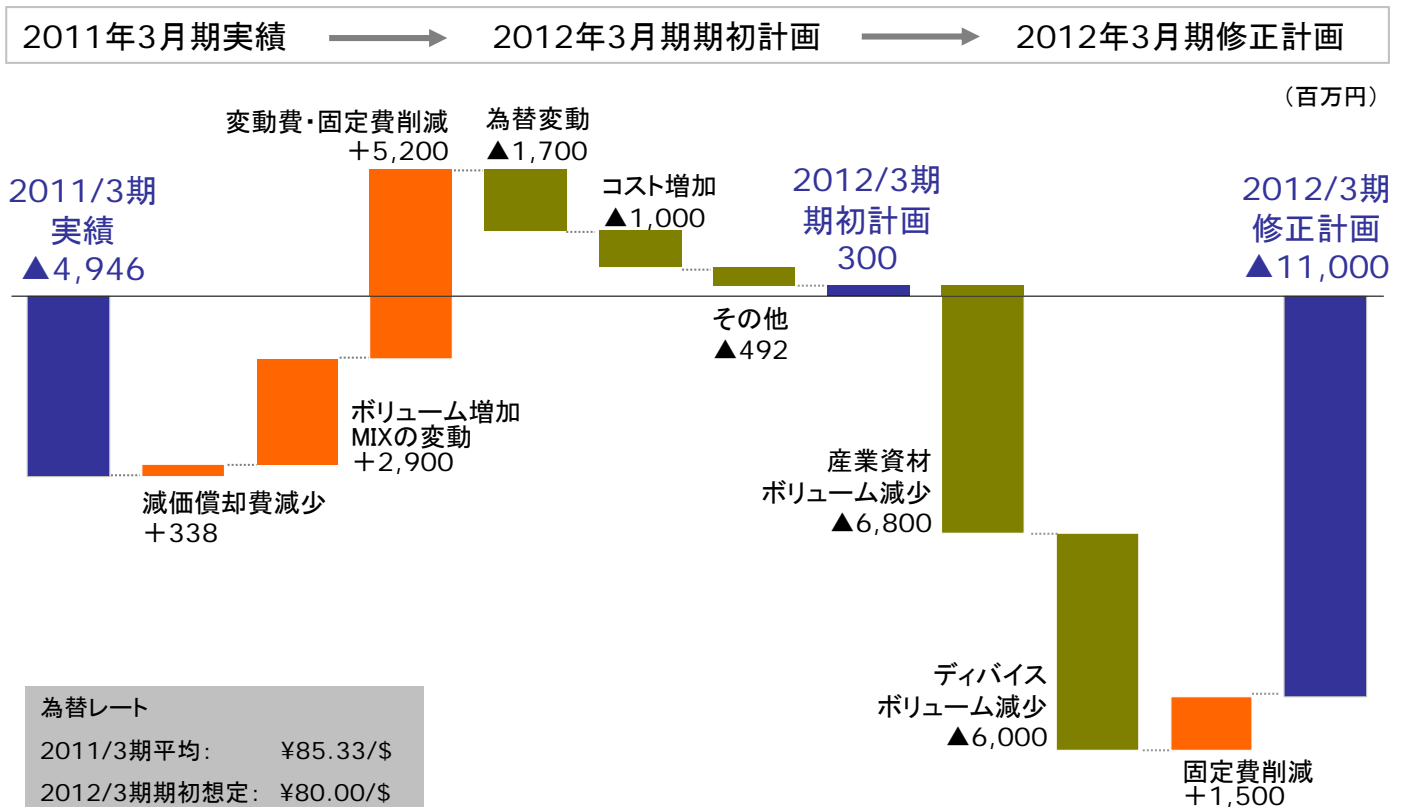


NIESHA

5

Nissha Confidential Proprietary

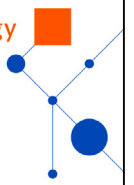
## 営業利益の増減要因



NIESHA

6

Nissha Confidential Proprietary



## 産業資材事業の状況

### 外部要因

- 需要の変動・低迷
  - PC: 欧米での消費低迷、タブレットの台頭
  - 携帯電話(従来型): 対象製品の需要低迷
- 価格・技術での競争激化
  - PCはIMDでの競合、携帯電話は他工法との競争
- 円高による売上高・利益の目減り、為替差損

### 内部要因

- 急激な売上高の低下に対し、コスト削減に課題
- 稼働率の低下



## デバイス事業の状況

### 外部要因

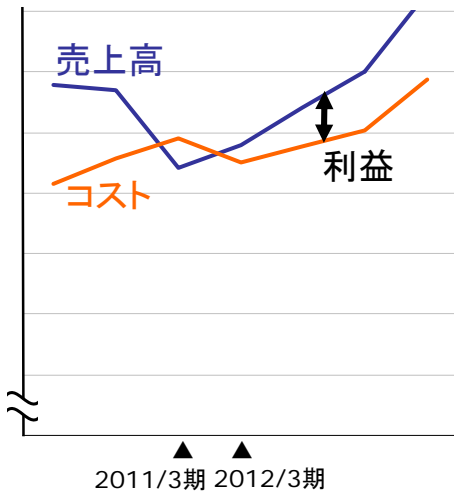
- 需要の変動・低迷
  - スマートフォン: 主要なお客さまの不調
  - ゲーム機: 主要なお客さまの不調
- 価格・技術での競争激化
  - 台湾勢との価格競争が激化
  - 現時点では、ガラスセンサー供給者が多勢
- 円高による売上高・利益の目減り、為替差損

### 内部要因

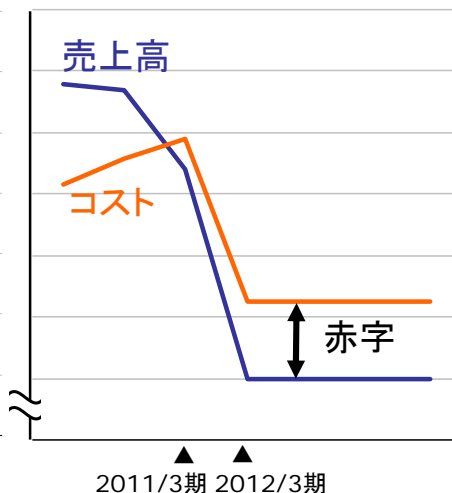
- 急激な売上高の低下に対し、コスト削減に課題
- 稼働率の低下

# 構造改革強化の基本ストーリー

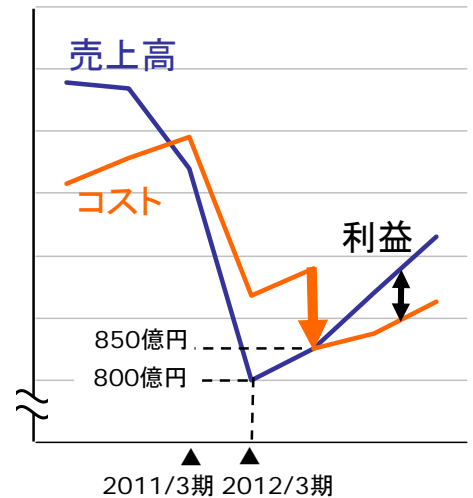
従来の見通し



現状(市場環境の激変)



構造改革強化による見通し



●IMD・タッチパネルを柱とし、需要回復を見込む

●売上高予想が大幅に落ち込み、赤字幅が拡大

●現時点ではPC・携帯電話市場の復調は期待できず

●売上高850億円で利益の出せるコスト構造へ改革

●売上高を回復させるための事業戦略を強化

**NISSHA**

## 構造改革の強化

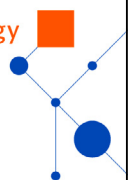
### ●連結売上高850億円で利益が出せるコスト体質に変革

- 「強い会社」を目指して、2011年3月期下期から構造改革を継続してきた
- 売上高予測の急減に対処するため、構造改革を一層強化
- 売上高の水準に見合うコスト構造へと最適化し、次の成長に向けて事業基盤を整える
- 2012年3月期下期着手、2013年3月期末までに達成

### ●復活に向けての考え方

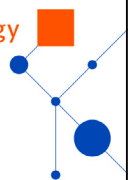
- 経営： 事業環境の変化への俊敏な対応力・決断力
  - ROICを意識した意思決定と実行
- コスト構造： 原価率の徹底的な低減、円高への対応
- 市場： 新興市場で勝負し、成長(真のグローバル企業へ)
  - 中国
- 技術： 「フォーカス」から「アプリケーション多様化」へ
  - 印刷技術の領域とアプリケーションの拡大を目指す
  - 社外技術・ノウハウの獲得
- 人材： グローバルで競争下で勝利する人材を育成する
- 購買： グローバル調達を促進

**NISSHA**

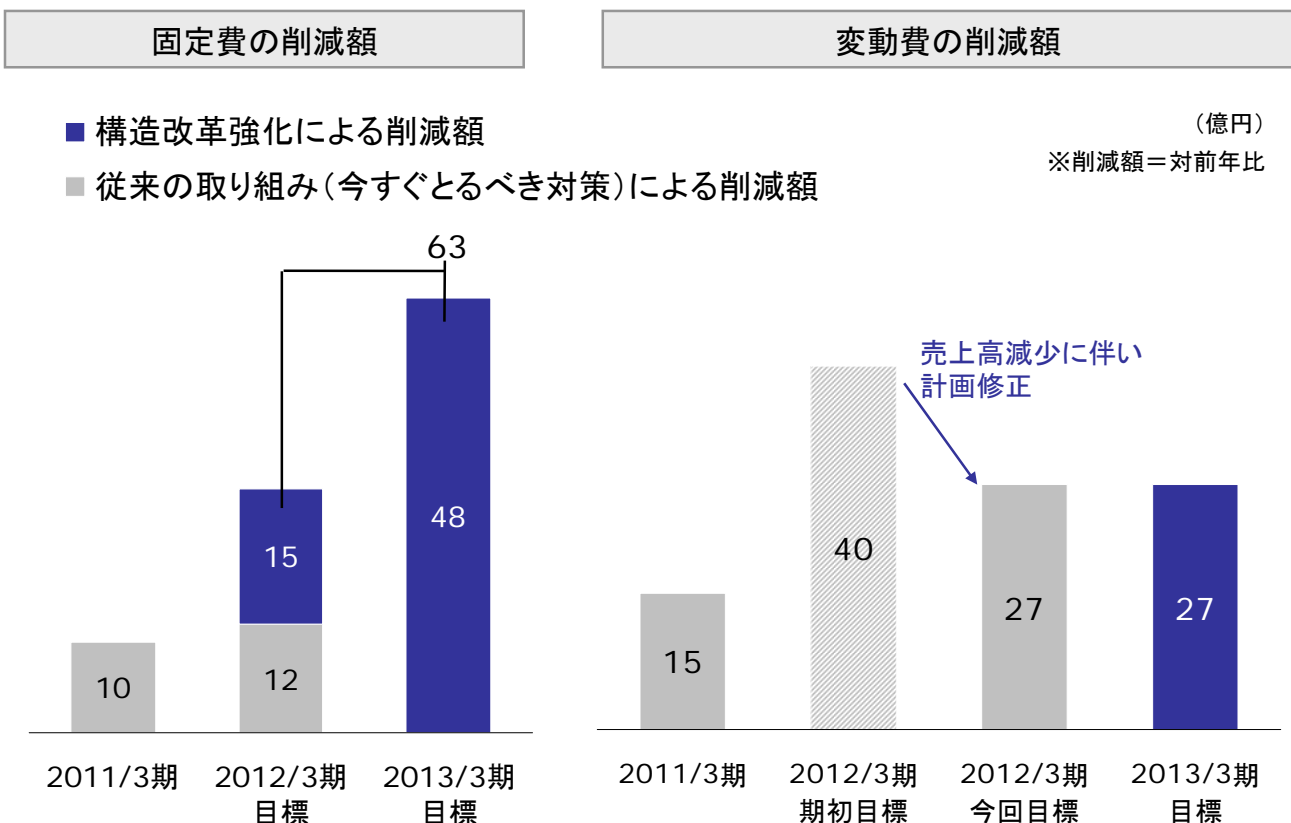


## 構造改革(強化策)の目標と費用

コスト削減目標(2013年3月期末まで)		約90億円
固定費の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 減価償却費の減少               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 工場・設備の減損・除却</li> </ul> </li> <li>● 人件費削減               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 役員報酬、給与・賞与の削減</li> <li>● 正社員・非正社員の削減 (希望退職者募集および契約終了) Nisshaグループ(国内) 700名規模</li> </ul> </li> <li>● 経費削減</li> </ul>	約63億円
変動費の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 良品率の改善</li> <li>● 材料費の削減</li> <li>● 外注加工費の削減・内製化</li> </ul>	約27億円
構造改革費用(2012年3月期特別損失)		約112億円
固定資産の減損損失		約78億円
希望退職者募集にともなう特別加算金・再就職支援プログラム費用		約34億円



## 現行の対策と合わせたコスト削減効果



# 構造改革を断行、 次期中期経営計画への布石も打つ

2011/3期

2012/3期

2013/3期

2014/3期

2015/3期

2016/3期

継続中の構造改革 (強い会社を目指す)

従来の取り組み  
(今すぐとるべき対策)

- 固定費の削減
- 変動費の削減
- 不採算事業・受注の改善・撤退 } 継続
- 在庫の削減 (営業CF改善) } 2012/3期
- 設備投資の削減 (投資CF改善) } 完了 (予定)

- 事業組織の改革
- 品質体制の立て直し
- 購買・サプライチェーン戦略の再構築
- 経営の「見える化」を早期正常化 (ERP) } 2012/3上期  
80~100%  
完了

- 損益分岐点の引き下げによるコスト構造改革
- 生産拠点の統廃合による資産効率の改善
- 円高対応力
- 事業・技術・製品・お客さまポートフォリオの最適化 } 継続

さらに強化して実行

構造改革の強化

次期中期経営計画に向けた取り組みを加速

- 生産拠点の海外進出
- 新製品の発表
- 印刷技術の多様化

第4次中期経営計画

次の成長  
ステージ

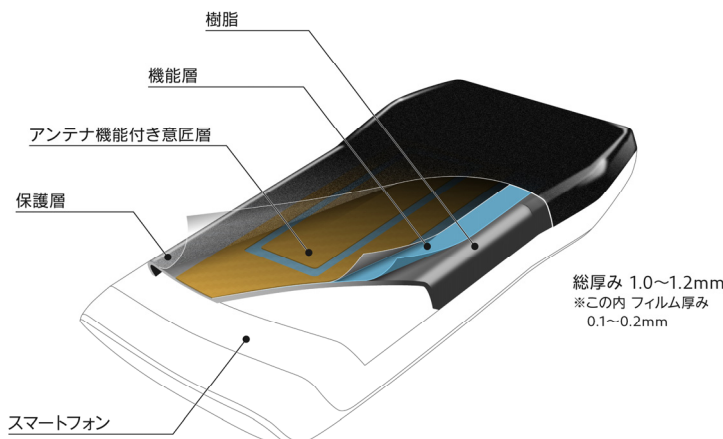
NISSHA

13

Nissha Confidential Proprietary

## 第4次中期経営計画に向けた取り組みを加速 【新製品の発表】

- 電界結合方式のワイヤレス充電用筐体
  - 「タッチパネルだけでないデバイス事業」の新機軸
  - アンテナ機能付き意匠フィルムを用いた電極内蔵筐体
  - 村田製作所との共同開発
  - モバイル機器、照明、装飾品、住設関連など



14

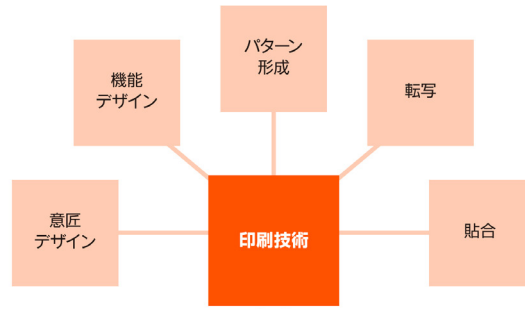
Nissha Confidential Proprietary

NISSHA

# 第4次中期経営計画に向けた取り組みを加速

## 【印刷技術を基盤に、アプリケーションと製品を多様化】

Leveraging our core competency across diverse applications

"Core Competency  
&  
Key Technologies"

Applications	情報		表面改質			電子機器		生体認証		...	
	グラフィック										
Products & Services	デジタル アーカイブ	セールス プロモーション	一般印刷	2次元加飾	3次元加飾	機能性フィルム	タッチ インプット	アンテナ	光電変換	セキュリティ	...
	超高精細 インプット	コミュニケーション デザイン	出版印刷	熱転写箔	IML	ハードコート	抵抗膜方式	ワイヤレス給電	太陽電池	DNA インキ	...
		POP	商業印刷	ラミナガラス	IMD	テクスチャー	タッチウィンドウ				
		Web プロモーション			射出成形	スクラッチ リペア	投影型 静電容量方式				
	プレミアム			金属加飾		フォースセンサー					

15

Nissha Confidential Proprietary

NISSHA

ご清聴ありがとうございました。

# NISSHA

[お問合せ先]

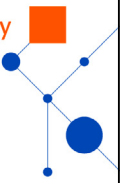
日本写真印刷株式会社  
コーポレートコミュニケーション室  
室長 谷口哲也

T 075 823 5144 (IRグループ直通)

16

Nissha Confidential Proprietary

NISSHA



## 免責事項

本プレゼンテーション資料には、日本写真印刷株式会社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。

これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。

また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

●本資料の業績数値は、特に注記がない限り、全て連結ベースとなっております。